

令和4年1月から 水道料金を改定（値上げ）します

これまで4回にわたり改定の内容や水道事業の現状と課題、将来に向けた目標設定等について連載してきました。最終回の今回はどのような経緯で料金改定に至ったのかについてお話しします。

第5回 料金体系等の検討方法と経営戦略の策定

1 審議会への諮問・審議

第2回からの連載でもお知らせしてきましたが、給水人口や料金収入が減少傾向にある中、水道施設の計画的な更新による耐震化、強靱化は重要課題となっており、これまで行ってきた経営努力だけでは収益悪化を改善することは困難であり、料金改定なくしてはかなり厳しい財政状況であることが試算されました。

そのため令和2年10月、本市の附属機関である「飯塚市上下水道経営審議会」に料金水準の見直しと上下水道事業の経営戦略（中期目標）について諮問を行いました。

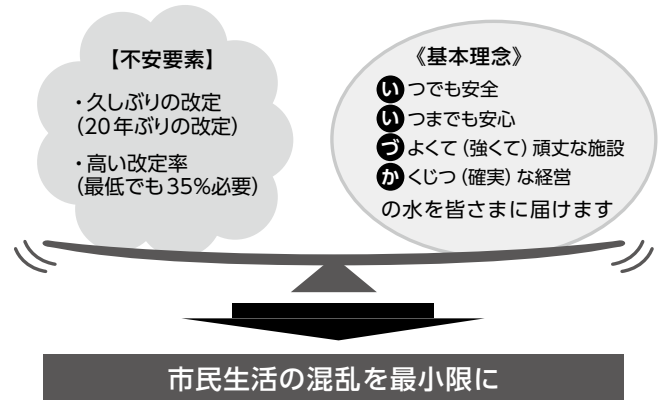
審議会では、水道事業の現状や今後の投資財政目標の設定、料金改定案等について4回にわたって審議いただきました。

飯塚市上下水道経営審議会

開催日	内容
R2.10.21 (第1回)	■諮問 ・水道事業の現状と課題 ・料金水準見直しの基本方針 ・今後の目指すべき方向性 ・更新需要（更新計画）の見直し
	・料金体系の現状 ・総括原価の考え方（算定、分解、配賦） ・財政目標 ・料金改定案
R3.1.27 (第3回)	・料金改定案（継続審議） ・財政シミュレーション ・飯塚市水道事業経営戦略（案） ・答申（案）
R3.2.16 (第4回)	・飯塚市下水道事業経営戦略（案） ・答申（案）（継続審議）
R3.3.3	■答申

2 答申内容（要旨）

- ・経営戦略における投資、財源の目標設定（⇒前回の内容）は妥当である
- ・料金算定期間は令和4年度から令和8年度までとし、5年を目途に定期的な見直しを行なうことが妥当である
- ・市民生活への影響が最も少なく、最低限度の事業運営を行うためには、少なくとも35%の改定率が必要である
- ・新型コロナウイルスの影響等があるものの、今なお経営悪化は進行中であり、出来るだけ速やかに料金改定を行う必要がある



飯塚市では、答申内容を受け、慎重に検討した結果、35%の改定が必要と判断し、令和3年6月議会に上程、可決されました。

3 中期計画（経営戦略）の策定

料金水準の見直しと併せて、今後の経営改善に向けた取組や財政シミュレーション等を取りまとめた中期計画である「飯塚市水道事業経営戦略」を策定しています。HPで公開していますので是非ご覧ください。

飯塚市水道事業経営戦略 [検索](#)

クリック

今後も経営改善に向け経営努力を行っていきますので、皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

お問合せ 飯塚市企業局 企業管理課
☎22-0380 (内線 2205)

料金改定について、詳しくは市HPにも掲載しています。ご覧ください。